

秋の
出荷物

パンパスグラス



栗 目ならし会

8月から梨・栗の出荷が始まっています。



梨 目ならし会



8月のお盆を中心に出荷。お彼岸、月見用、アレンジ用などにも人気です。



乾燥
ニンニク

乾燥されたニンニクは、大きさや品質を調整して出荷します。



* 甘藷や柿などの出荷も始まります。* 各部会では総会も開かれていますので、まとめてご報告いたします。

鳥獣被害防止対策研修会



電気柵設置の実演

鳥獣害対策
地域ぐるみの
対策重要



8/22 熊本県農業鳥獣被害対策事業（JA熊本中央会事業）の申請者等約60人が参加し、イノシシの習性等について学びました。県北広域本部農業普及・振興課の田添宏美主幹が「電気柵等を設置し、個別で対策することも大事だが、地域で対策しなければ根本的な対策とはならない」と話し地域ぐるみによる対策の重要性についても述べました。電気柵のトップメーカーである（株）末松電子製作所の酒井裕匡さんによる「侵入防止電気柵設置等の注意点」についての実演もありました。参加者は「これまでの電気柵の設置方法や、使用方法が間違っていたことがわかった。正しく設置し、しっかりと対策を行っていききたい」と話していました。

イノシシに効果的な
電気柵設置のための注意点

- ① 通電の良い場所に設置する（アスファルトは×）
- ② アースは湿り気のある場所に、間隔をあけて深く打ち込む
- ③ 碇子（ガイシ）は、圃場の外側（動物側）に向ける
- ④ 斜面地から離れた場所に設置し、24時間通電
- ⑤ 漏電防止のために、定期的に草刈りを行う
- ⑥ 電気柵の近くの藪（やぶ）を整備する

菊池管内地域営農法人経営向上研修会



労働力確保を
テーマに意識醸成

菊池地域営農組織連絡会、行政、JA菊池が共同で開催

7/25 管内22の地域営農法人代表者ら約50人が参加し「労働力確保」をメインテーマに意識醸成を行いました。研修会では、東海大学の安部美和特任准教授が「学生ボランティアと（農）菊池佐野」の労働力確保の取り組み事例を講演。安部氏は「佐野での活動は学生にとって貴重な経験である。受け入れる側は非常に大変だと思うが、地元の方に地域が元気になったと喜ばれ、双方にとっていい取り組みになっている」と話しました。県北広域本部から法人経営分析結果の報告や、組織間連携や労働力確保についての研修もありました。同連絡会の有働宗信会長は「法人形態は様々、各地域の課題や悩みを少しでも解決できるような研修会を今後も開いていきたい」と話しました。

JA営農指導実践熊本県大会



南営農センターの西淳史指導員が
最優秀賞を受賞しました！

西 指導員

西さんは「産地を守れ！省力化とサツマイモ基腐病対策」と題して発表。審査委員長より「産地の課題解決に向けた取り組みに加え、基腐病を発見した農家へのフォローアップが素晴らしかった」と評価されました。